

株主の皆様へ

第112期 決算のご報告

2020年4月1日～2021年3月31日

株式会社 サンエー化研



株主の皆様には、日頃より格別のご支援とご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

第112期（2020年4月1日～2021年3月31日）における当社グループを取り巻く経営環境と事業活動の概況並びに今後の取り組みについてご報告させていただきます。

当期の経済情勢

当期におけるわが国経済につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の勢いが収まらず、2度の緊急事態宣言発出により社会・経済活動は大きく制限されました。年明け以降、感染状況は深刻さを増しており、依然として先行き不透明な状態が続いています。



代表取締役社長 山本明広

当社グループの業績概況

当期における当社グループの業績といたしましては、巣ごもり需要の増加による包材関係の受注増加と、昨年10月に行ったシノムラ化学工業株式会社の子会社化が売上高の増加要因となりました。一方で、新型コロナウイルス感染拡大による世界的な景気低迷の影響や米中関係悪化の影響を受けて、光学用表面保護フィルムの受注が振るわず、連結売上高は前期比微増にとどまりました。

損益面では、生産合理化や経費支出の抑制及び原材料費の低減により営業利益は増益となりました。また、雇用調整助成金収入や為替差益の計上及び持分法による投資損失の減少等もあり、経常利益は増益となりました。更に、シノムラ化学工業株式会社の子会社化に伴う負ののれん発生益の計上、政策保有株式の処分による投資有価証券売却益の計上及び関係会社に対する減損損失の減少等により親会社株主に帰属する当期純利益も改善し、増益となりました。

その結果、当社グループの経営成績は、売上高299億86百万円（前期比1.0%増）、営業利益6億13百万円（前期比238.1%増）、経常利益9億6百万円（前期は経常損失1億61百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益11億

1百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失13億38百万円）となりました。

今後の取り組みについて

軽包装材料セグメントにつきましては、今後も受注拡大が見込まれる電子レンジ対応食品包材「レンジD○!」について、生産体制を強化するとともに、食品メーカーとの協業を推進し、売上拡大を目指します。

また、昨今問題となっているプラスチック製品の廃棄によって生じる様々な環境汚染に対処するため、環境対応包材の開発に取り組んでまいります。

産業資材セグメントにつきましては、昨年10月に子会社化したシノムラ化学工業株式会社との最適な生産体制の構築と新製品開発及び生産・販売面におけるシナジー効果創出により、品質・納期面においても顧客満足度向上に努めてまいります。

また、収益性の高いIT分野、メディカル分野への製品展開を推進いたします。

機能性材料セグメントにつきましては、顧客密着型の開発態勢を継続し、顧客との協業関係を維持しながら、将来の受注機会を確保します。

テレビやスマートフォンの高画質化に伴って高度化する品質要求に対応しつつ生産合理化を推進し、コストダウンを図ります。

また、抗菌・抗ウイルス性を付加した新製品「バイプロテープ」の拡販等により、売上拡大を目指します。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月

決算ハイライト

売上高



299億86百万円
前期比 1.0%増

営業利益



6億13百万円
前期比 238.1%増

経常利益

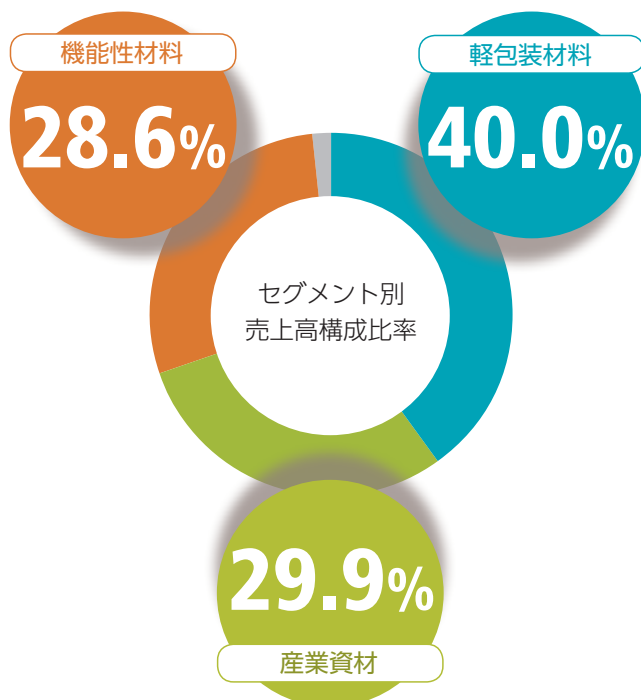


9億6百万円
前期は経常損失1億61百万円

親会社株主に
帰属する当期純利益



11億1百万円
前期は親会社株主に帰属する
当期純損失13億38百万円



■ セグメント別売上高

売上高	299億86百万円
軽包装材料	120億00百万円
産業資材	89億67百万円
機能性材料	85億81百万円

軽包装材料



事業内容

食品、医薬品、医療器具、洗剤・トイレタリー用品、電子部品、精密機器等の包装材料(包材)の製造・販売を行っています。市場ニーズを的確にとらえ、内容物に最も適したパッケージを供給するとともに、自然環境に優しい包材の開発にも取り組んでいます。

当期の概況

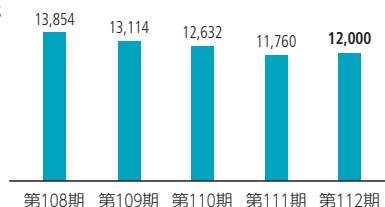
食品用包材については、外出自粛の影響を受け、清涼飲料用パウチは受注減。一方、巣ごもり需要の増加に伴い電子レンジ対応食品包材「レンジD o !」の受注は好調で、増収。

医薬品・医療用包材については、医療機関への外来患者の減少等により、高防湿P T P包装用フィルム「テクニフィルム」、その他の医療用包材も受注が伸びず、減収。

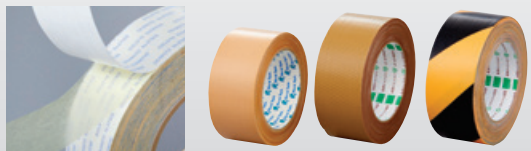
洗剤・トイレタリー用包材については、外出自粛の影響で化粧品関連の受注が伸び悩むも、ハンドソープ、消毒液、液体洗剤等の詰替え用パウチの受注が増加し、増収。

精密機器その他の包材については、新型コロナウイルスの影響によりエア緩衝材をはじめ、その他包材の受注が低調で、減収。

売上高の推移
(単位:百万円)



産業資材



事業内容

粘着テープ・ラベル等の基材、剥離紙の製造・販売を行っています。近年は、粘着テープやラベルの用途が多様化・高度化しており、こうした要求に応え、長年にわたり培ってきたラミネート技術や離型剤塗工技術を駆使し、新製品開発を進めています。

当期の概況

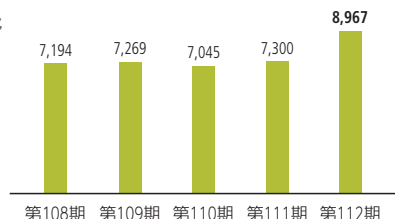
テープ基材関連製品については、事業者間の荷動き低下による梱包用テープの需要減少や、自然災害の備えとしての養生用テープの需要一服により受注が減少。

剥離紙については、POPラベル関連その他の受注が減少。一方、FPC（フレキシブルプリント基板）用工程紙については受注が増加。

産業資材全体では、シノムラ化学工業株式会社の子会社化により、売上高が増加し、増収。

売上高の推移

(単位:百万円)



機能性材料



事業内容

粘着塗工タイプ、2層押出しタイプ、精密塗工タイプに分類される各種表面保護フィルムの製造・販売を行っています。フラットパネルディスプレイ向け偏光板や輝度向上フィルム等の光学用途から建材用途に至るまで、様々な部材を加工時・輸送時・保管時のキズ・ホコリ・汚染から保護します。

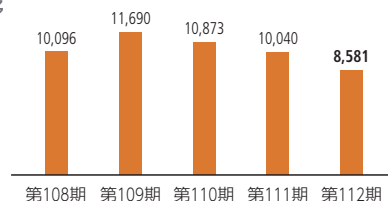
当期の概況

粘着塗工タイプ「サニテクト」については、テレワーク導入企業の増加によりパソコン向けの受注が好調で、増収。

2層押出しタイプ「PAC」及び精密塗工タイプ「SAT」については、米中関係悪化の影響を受け、偏光板用やスマートフォン関連の受注が減少し、減収。

売上高の推移

(単位:百万円)



連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前期末 2020年3月31日現在	当期末 2021年3月31日現在
資産の部		
流動資産	20,075	22,420
現金及び預金	6,341	7,147
売上債権	10,341	11,628
たな卸資産	3,274	3,605
その他	117	39
固定資産	11,552	13,567
有形固定資産	6,520	7,325
無形固定資産	27	54
投資その他の資産	5,004	6,188
資産合計	31,627	35,988
負債の部		
流動負債	12,303	12,625
仕入債務	6,148	6,888
短期借入金	4,120	3,470
その他	2,034	2,267
固定負債	1,982	3,503
長期借入金	355	1,393
その他	1,627	2,110
負債合計	14,286	16,129
純資産の部		
株主資本	15,983	16,887
資本金	2,176	2,176
資本剰余金	2,136	2,136
利益剰余金	11,787	12,690
自己株式	△116	△116
その他	1,357	2,971
純資産合計	17,341	19,859
負債純資産合計	31,627	35,988

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前 期 2019年4月 1日から 2020年3月31日まで	当 期 2020年4月 1日から 2021年3月31日まで
売上高	29,698	29,986
売上原価	26,480	26,275
売上総利益	3,217	3,711
販売費及び一般管理費	3,036	3,097
営業利益	181	613
営業外収益	284	330
営業外費用	628	37
経常利益(△は損失)	△161	906
特別利益	1	469
特別損失	1,133	64
税金等調整前当期純利益(△は損失)	△1,294	1,311
法人税、住民税及び事業税	104	257
法人税等調整額	△65	△80
非支配株主に帰属する当期純利益	4	33
親会社株主に帰属する当期純利益(△は損失)	△1,338	1,101

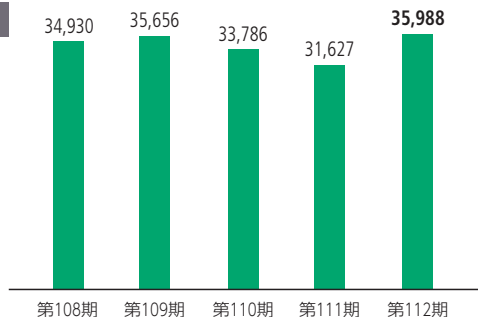
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前 期 2019年4月 1日から 2020年3月31日まで	当 期 2020年4月 1日から 2021年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,242	2,040
投資活動によるキャッシュ・フロー	△588	△584
財務活動によるキャッシュ・フロー	288	△678
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	13
現金及び現金同等物の増減額	935	791
現金及び現金同等物の期首残高	5,199	6,135
現金及び現金同等物の期末残高	6,135	6,927

■ 総資産

(単位:百万円)

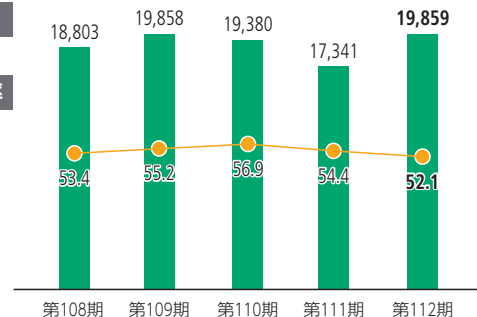


■ 純資産

(単位:百万円)

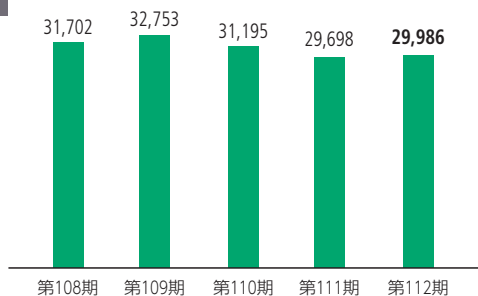
● 自己資本比率

(単位: %)



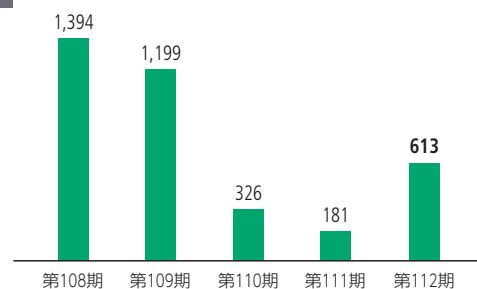
■ 売上高

(単位:百万円)



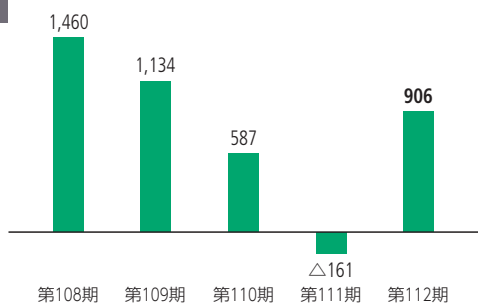
■ 営業利益

(単位:百万円)



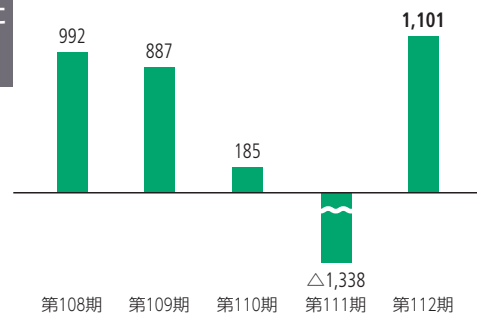
■ 経常利益

(単位:百万円)



■ 親会社株主に 帰属する 当期純利益

(単位:百万円)



当社のフィルムテクノロジーは、産業を支える部材から、皆様の豊かな暮らしをサポートする食品、医療・医薬品、日用品などに使用される包装資材まで、幅広いジャンルでご要望にお応えしています。

ここでは、これら製品群のなかから、**市場で注目されている製品**をご紹介します。

DIYセンターでの販売を開始！

特 徴

- 当社の独自技術を応用し製造した、抗菌・抗ウイルス作用をもつディスポーザブル（使い捨て）タイプのテープ。
- 目に見えないウイルスや細菌などの微生物に対して短時間で効果を発揮します。
- 表面にある特定ウイルスが30分で99.9%以上減少*。
- 廃棄時に有害な物質を発生させません。
- 特殊な粘着剤を使用することで貼合面へ糊残りがしにくい設計となっています。
- テープが貼られていることがひと目でわかる印刷つきもラインアップ。

※ ISO21702試験ウイルスの場合

使用例



抗菌・抗ウイルステープ

バイプロ™テープ

VIPRO
Tape

味の素(株)の人気商品

「スチーミー Steam Me」


 Steam Me


好評につき鶏チャーシュー用が新発売！

特 徴

- 味の素(株)様が発売している圧力スチーム調理パウチ入り合わせ調味料。
- 調理に時間と手間のかかる料理が電子レンジを使って簡単に短時間で手作りできます。

「スチーミー Steam Me」には当社製品「レンジDo!」のジッパーつきパウチの技術が使用されています。この「レンジDo!」は、単にレンジで温めるためだけの包材ではなく、近年調理器具としての採用が増加しています。

News

世界包装機構(WPO: World Packaging Organisation)主催の「ワールドスターコンテスト2021」にてワールドスター賞を受賞しました。



■ 配当金について

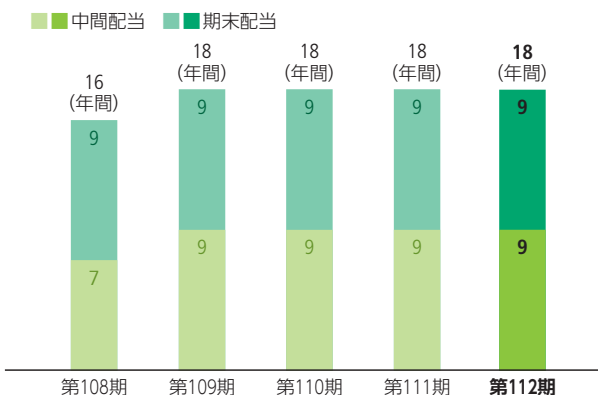
当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけており、将来の事業展開と企業体質の強化に備えて必要な内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としています。

この方針の下、第112期（2021年3月期）の期末配当金につきましては、連結経営成績及び財政状況等を総合的に勘案し、1株当たり9円とすることといたしました。

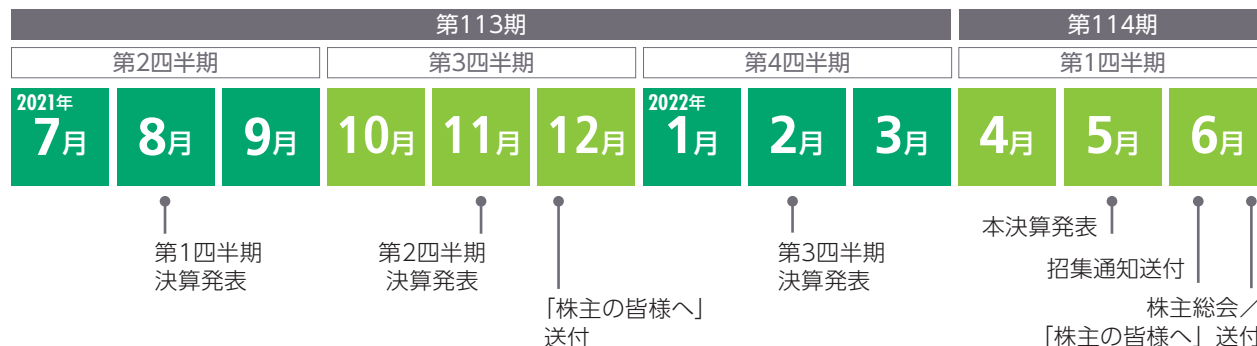
これにより、第112期の年間配当金は、中間配当金9円と合わせて、1株当たり18円となりました。

■ 1株当たり配当金

(単位:円)



■ IR カレンダー



2021年3月31日現在

■ 株式の状況

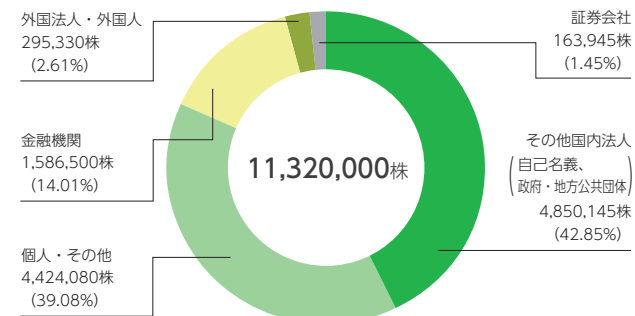
発行可能株式総数	45,000,000株
発行済株式の総数	11,320,000株
株主数	2,683名

■ 大株主の状況

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
新生紙パルプ商事株式会社	1,812,200	16.51
昭和ボックス株式会社	1,244,200	11.33
サンエー化研社員持株会	399,700	3.64
株式会社三菱UFJ銀行	310,000	2.82
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・昭和ボックス株式会社口)	300,000	2.73
みずほ信託銀行株式会社 (退職給付信託 昭和ボックス株式会社口)	300,000	2.73
双日プラネット株式会社	201,000	1.83
株式会社みずほ銀行	200,000	1.82
山田美千代	121,500	1.10
鈴木靖子	117,000	1.06

1.当社は、自己株式を345,345株保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
2.持株比率は自己株式(345,345株)を控除しております。

■ 所有者別株式分布状況



■ 会社概要

商 号	株式会社サンエー化研
本社所在地	東京都中央区日本橋本町1-7-4
事 業 所	関西支店、名古屋営業所、台北営業所 静岡工場、袋井工場、掛川工場、掛川工場WEST、 奈良工場 R&Dセンター
設 立	1942年9月
資 本 金	21億76百万円
従 業 員 数	528名
主な事業内容	紙、プラスチック、金属箔等を主原材料とする 軽包装材料、剥離紙、粘着テープ基材、表面保護 フィルム等、包装材料関連製品の製造及び販売

■ 連結子会社

東邦樹脂工業株式会社	本社・工場／栃木県下都賀郡野木町野木148
株式会社ペンリード	東京都中央区日本橋本町1-7-4
シノムラ化学工業株式会社	本社・工場／静岡県袋井市国本291
灿櫻(上海)商貿有限公司	中国上海市長寧区虹橋路

■ 役 員

代表取締役会長	藤 岡 宣 隆	社外取締役	藤 澤 廣 一
代表取締役社長	山 本 明 広	常勤監査役	佐 藤 誠 一
常務取締役	櫻 田 武 志	監査役	宮 本 貞 彦
取締役	芝 彦 尚	監査役	飯 崎 充
取締役	山 本 元		

(注) 監査役 宮本貞彦及び飯崎充の両氏は、社外監査役です。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日	3月31日(期末配当) 9月30日(中間配当)
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
ご連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料) 郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 JASDAQスタンダード
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.sun-a-kaken.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします)

株式事務に関するお問い合わせ

- (1)住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取請求等のお申出先について
証券会社に口座を開設されている株主様は、当該証券会社にお問い合わせください。
証券会社に口座がないため特別口座に記録されている株主様は、上記の特別口座管理機関(兼株主名簿管理人)である、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。
- (2)払渡期間経過後のお取り扱い
配当金領収証の裏面に受取方法を指定し、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部までご郵送いただくか、同銀行全国各支店窓口にてお受け取りください。

●ホームページのご案内●

当社の詳細なIR情報は、ホームページをご覧ください。

当社ホームページの〈投資家情報〉では、詳細なIR情報を掲載しております。

また新製品情報をはじめ、業務内容や最新の企業情報、展示会情報等についてもご覧いただけます。



URL▶<http://www.sun-a-kaken.co.jp>

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元にて到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を差しさせていただきます

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4234

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信 kabu@wjw.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」

MAIL:info@e-kabunushi.com

株式会社 サンエー化研

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-7-4
TEL 03-3241-5701 FAX 03-3241-5719



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

